

講師に料理のコツを教わる参加者



「文化の違いを味覚で体感

◎世界味めぐり in 鬼北町

愛媛県国際交流協会主催の平成26年度第2回国際交流チャレンジ講座「世界味めぐり in 鬼北町」は9月27日、中央公民館2階調理室で行われました。

この日は、愛媛県の中国国際交流員・呉瑩氏と韓国国際交流員・徐銀珠氏、そして青年海外協力隊OBで、鬼北町在住の井岡弘恵氏を講師に迎え、それぞれが松餅（ソンピョン）、糯米藕（ヌオミiaoウ）、スリランカカレーの作り方を指導しました。

町内外から参加した15名の参加者ら。和気あいあいとした雰囲気の中、初めて作る「世界の味」を楽しんでいました。

植物の観点から話をする佐々木氏



検討重ね、近づく夢の実現

◎興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト

9月27日、近永公民館2階講堂で「興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト」の第3回検討学習会が行われました。

今回の検討会では、榎パレオ・ラボの佐々木由香先生による講演を実施。佐々木先生は「鬼北から弥生の新しい成果を発信したい」とこのプロジェクトに対する期待をあらわにしています。

また、愛媛大学名誉教授の下條信行先生と榎歴史環境計画研究所の秋山邦雄先生との意見交換では、それぞれの専門分野の知識を生かしながら意見をぶつけ合い、より具体的な検討を深めていきました。

優勝した武田自販の選手ら



白球追いかけた日々、ついに終結

◎第10回鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式

「第10回鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式」は10月3日、鬼北総合公園グラウンドで行われました。

式には、約5ヶ月間にもわたる熱戦を繰り広げてきた選手らが集結。今年は、第1節・第2節を通して全勝という快挙を成し遂げた「武田自販」が優勝を、そして「鬼北ドリム」が準優勝を勝ち取りました。

また、その他にも「ホームラン賞」、「グッドマナー賞」、「一番とつたで賞」や「一番とられたで賞」などさまざまな賞が贈られ、それぞれの分野で活躍した選手らの功績を称えました。

終始、穏やかに語りかける中城先生



早期発見・早期絶望から早期希望へ

◎認知症講演会

9月27日、三島公民館2階集會室で、認知症講演会が行われ、約100名が参加しました。

会では、平成25年度の「愛治地区認知症見守り・SOSネットワーク」の活動報告の後、「認知症にまけない」と題して砥部病院の中城有喜先生による講演を実施。中城先生は「今までの認知症に対するイメージを新たにしたい」と話し、「認知症」という重くなりがちなテーマを分かりやすく解説していました。

また、「認知症の方には愛情がとても大事」「認知症の人が困らないまちづくりを進めてほしい」と来場者らに訴えかけていました。